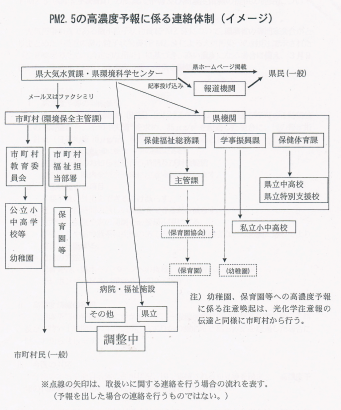
PM2.5の高濃度予報および情報の提供開始

最近「PM2.5」という言葉がよく報道されています。（PM2.5は、大気汚染物質である微小粒子物質のことです。花粉の1/12の大きさです）
今、このPM2.5が中国から飛来していることで、日本への影響が心配されています。横須賀市内の小学校でも、体育の時間を校庭で行うことを控えた方が良いのでは…との検討もされているそうです。心配されている方も多いと思いますので、県の3月8日現在の見解をお知らせします。

環境省の専門家会合がとりまとめた「最近のPM2.5による大気汚染への対応」で示された「注意喚起のための暫定的な指針」に基づき、高い濃度になる場合に備え、9日から高濃度予報及び高濃度情報の提供を開始しました。横須賀市では県内16ヶ所のうち「追浜行政センター・久里浜行政センター・西行政センター」の3ヶ所で測定します。

一定数値を越えた場合　図で示した連絡網で指示を出します。



★注意喚起する項目は、
- 不要不急の外出をできるだけ減らす。
- 屋外での長時間の激しい運動をできるだけ減らす。
- 屋内では換気や窓の開閉を必要最小限にする。
- 呼吸器系や循環器系の疾患のある方、小児、高齢者などは体調に応じてより慎重に行動する。

県の説明を聞き「光化学スモックと同じような対応が必要なのかな」と感じました。

コラム～PM2.5よりガンの発生率が高いと言われているのが「煙草」～

今、中国の北京の大気汚染がひどいと言われていますが、実は、日本の会社などの喫煙室は北京の大気と同等又はそれ以上に身体に悪影響をおよぼすものだと報道されています。そして受動喫煙も…。神奈川県は日本で一番最初に**受動喫煙防止条例**を出しました。これからも日本をリードして、環境に取組んでいく神奈川県でありたいと思います。

グリーンミシュラン2つ星～三浦半島南端「城ヶ島」

グリーンミシュランとは、レストランの評価などを星の数で表わすことで世界的に有名なミシュランの旅行ガイドブックの通称です。2月中旬に三浦半島が2つ星評価を受けました。城ヶ島、観音崎をはじめ、横須賀軍港めぐりやヴェルニー公園、記念艦・三笠、三浦海岸、荒崎公園も盛り込まれています。

3月8日、県議会議員超党派の仲間で「城ヶ島」に視察に行ってきました。城ヶ島と三浦漁港は、神奈川県が「横浜・鎌倉・箱根」に続く、第４の観光の核として募集し、最初に選定された場所です。テーマは“ホテルになった村”構想と“統合医療”構想による「観光＋医療ツーリズム＋グリーンツーリズム」、産業観光による観光の核づくりです。
この日は時間の都合で3ヶ所を調査しました。

左から、水仙ロード・ウミウ展望台・ 馬ノ背洞門です。
ウミウ展望台では、天然記念物であるウミウの生態が良く見えるので、是非コインで見る事の出来る双眼鏡を設置する事を、同行して下さった県の職員に要望しました。

学生時代、故郷の友人で東京に進学した仲間と訪れた城ヶ島。ダイナミックな風景はそのままでした。

城ヶ島では今、若い世代の方たちが、地元の方たちに農業や漁業を学びながら「パーマカルチャー」を実践しています。テーマは**『太陽と風が大地に恵みを与える。大きな海と変化に富む地形の山と海で子供が育つ』**

城ヶ島ならではの豊かな自然、そして、新しい感覚の取り組みに期待しています。

＊パーマカルチャーとは「パーマネント＝永遠」と「アグリカルチャー＝農業」を合わせた造語で、持続可能な農的生活のこと。